

老年看護学方法論Ⅱ	2年・後期	1単位	准教授 石久保 雅浩 助教 鏑田 久仁子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210712

1. 授業のねらい・概要

老年期は、加齢による諸機能の変化に伴い様々な健康障害が生じる。本講義では、老年期における特徴的な健康障害、疾患や治療の看護および終末期の看護を学ぶ。

2. 到達目標

1. 老年期の特徴的な疾患を説明できる。
2. 諸機能における健康障害の特徴と看護を説明できる。
3. 治療を受ける高齢者の看護が理解できる。
4. 認知機能を障害した人の看護を理解できる。
5. 高齢者の強み生かした看護過程を展開することができる。
6. 終末期の高齢者の特徴と看護を理解できる。

3. 授業の進め方

老年看護学概論および老年看護学方法論Ⅰの講義を踏まえて、老年期に特徴的な疾患や障害の看護について発展的に学習する。また、事例を通して高齢者の健康上の課題をアセスメント、個別的看護計画を立案する。

4. 授業計画

1. 骨・関節・運動器疾患のある高齢者の看護 (鏑田久仁子)	9. 終末期における看護 (鏑田)
2. 脳血管疾患のある高齢者の看護 (鏑田)	10. 高齢者を介護する家族の看護 (鏑田)
3. パーキンソン病のある高齢者の看護 (鏑田)	11. 看護過程 (情報収集・アセスメント) (石久保・鏑田)
4. 呼吸器疾患のある高齢者の看護 (石久保雅浩)	12. 看護過程 (看護の焦点と全体像) (石久保・鏑田)
5. 治療を受ける高齢者の看護 (薬物) (石久保)	13. 看護過程 (看護計画の立案と評価) (石久保・鏑田)
6. 治療を受ける高齢者の看護 (リハ) (石久保)	14. 高齢者疑似体験 (石久保・鏑田)
7. 認知症高齢者の看護 (認知症の基礎) (鏑田)	15. まとめ (石久保・鏑田)
8. 認知症高齢者の看護 (日常生活変化と家族への支援) (鏑田)	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験、課題レポート、授業態度 (予習・復習の姿勢含む積極的参加状況) 等で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学①
ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学②
山田律子/井出訓編集：生活機能から見た老年看護過程，医学書院
その他、必要に応じて資料を配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行うこと。老年看護学概論および老年看護学方法論Ⅰの学習した内容と関連させながら主体的に参加してほしい。

8. 受講上の留意事項

老年看護学実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。